

○九州地方の地震活動

2023/10/01 00:00 ~ 2023/10/31 24:00

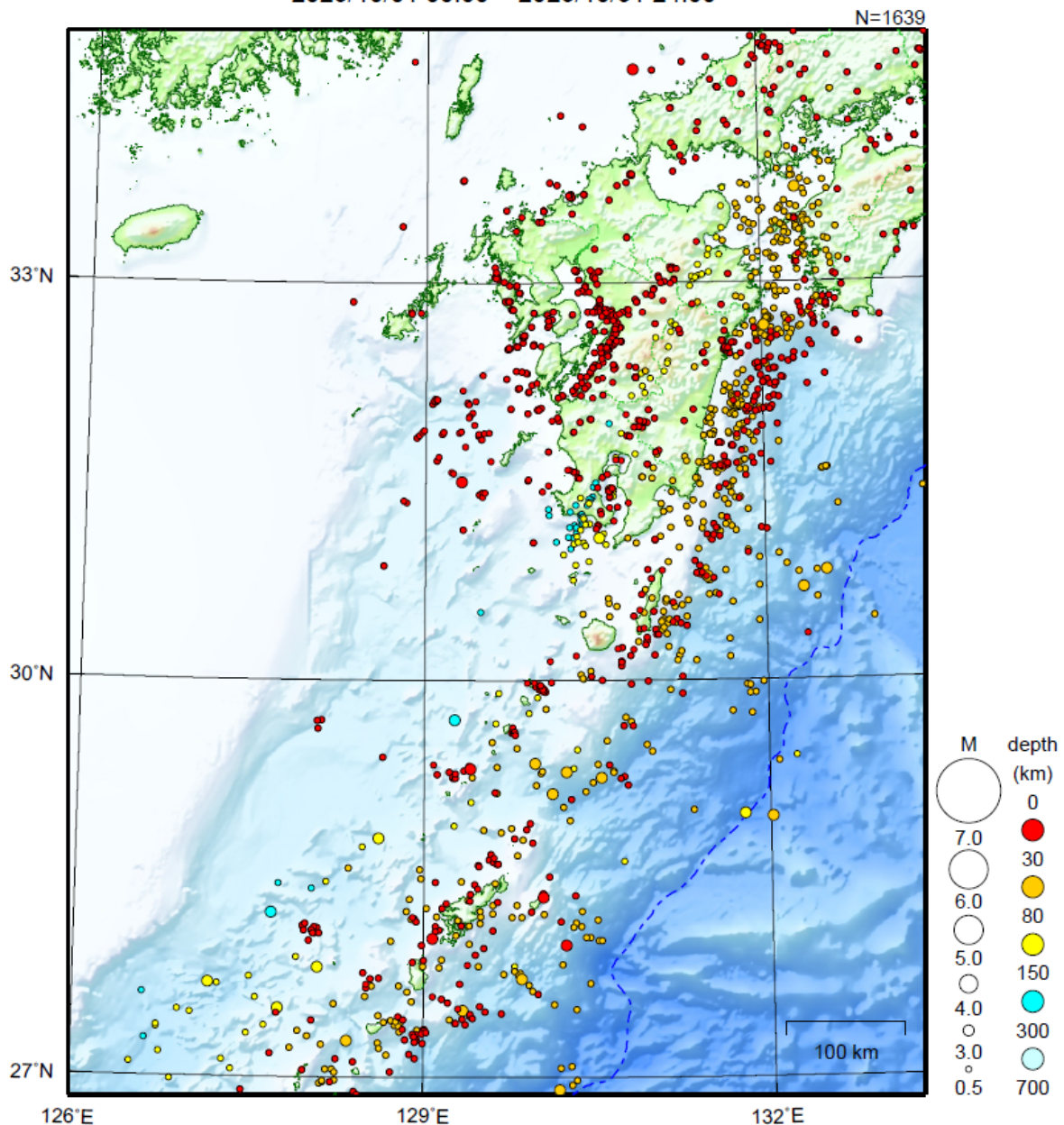


図9 九州地方の震央分布図（2023年10月1日～10月31日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

10月に九州地方で震度1以上を観測した地震は12回（9月は370回）であった。

10月中、特に目立った活動はなかった。

（図の範囲外）

鳥島近海（鳥島から南西に約100km）では、2023年10月2日から9日にかけて、 $M6.0$ 以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。5日10時59分には深さ10km（CMT解による）で $M6.5$ の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、伊豆諸島の八丈島八重根で0.2mの津波を観測した。また、6日10時31分には $M6.0$ の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生し、八丈島八重根で0.2mなど、八丈島及び鹿児島県で津波を観測した。さらに、これらの地震の震源付近では、9日04

時頃から06時台にかけて、規模が小さいうえに地震波のP相及びS相が不明瞭なため震源が決まらないものも含めて地震が多発した。この地震活動により、八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

九州地方では、6日10時31分の地震により鹿児島県の中之島で8cm、南大隅町大泊で6cmの津波を観測した。また、9日04時頃から06時台にかけての地震活動により、鹿児島県の中之島で31cm、南大隅町大泊で26cmの津波を観測したほか、大分県、宮崎県及び鹿児島県の太平洋沿岸で津波を観測した（p.48～66参照）。